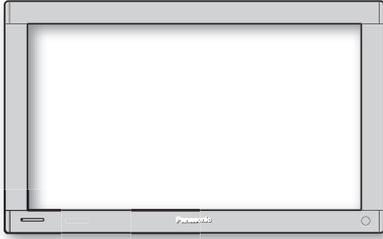


## 取扱説明書

### 光学式タッチパネル 業務用



品番 TY-TP42P8-S (42V 型用)

TY-TP50P8-S (50V 型用)



このたびは、パナソニック光学式タッチパネルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

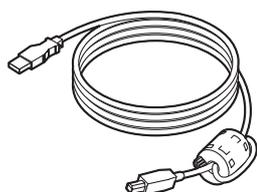
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。  
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。  
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使うって上手に節電

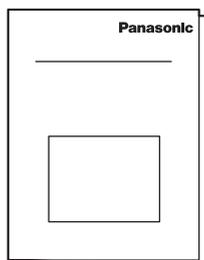
# 付属品

取り付け、接続の前にまず付属品を確かめてください。  
 ( ) 内は個数です。

USBケーブル (1)  
2 m



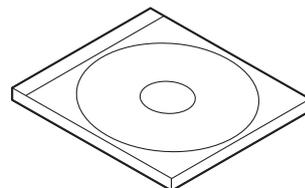
取扱説明書 (9)



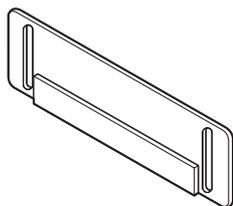
・日本語  
 ・英語  
 ・ドイツ語  
 ・フランス語  
 ・イタリア語  
 ・スペイン語  
 ・中国語  
 ・ロシア語  
 ・ウクライナ語

CD-ROM (1)

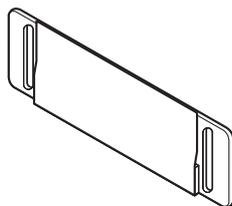
USB ドライバースoftware  
 タッチパネル設定プログラム



取付金具 A  
 TY-TP42P8-S (4)  
 TY-TP50P8-S (2)



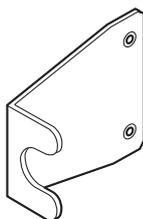
取付金具 B  
 TY-TP50P8-S (3)



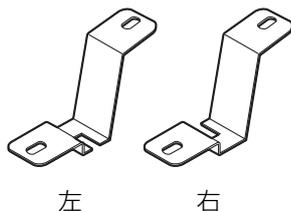
取付ねじ A  
 TY-TP42P8-S (8)  
 TY-TP50P8-S (10)



USBケーブル固定金具 (1)



取付金具 C  
 TY-TP50P8-S (2)



USBケーブル固定金具ねじ (2)



取付金具C固定ねじ  
 TY-TP50P8-S (4)



## ■ オプション (別売品) の紹介 (2005年10月現在)

### タッチペン (品番: TY-TPEN6)

お求めの販売店にご相談ください。

- Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
 (Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです)
- その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

■ 安全上のご注意 .....	4
■ お手入れ / 上手な使いかた .....	6
■ 各部のはたらき .....	7
<hr/>	
■ 取り付けからインストール、設定までの流れ .....	8
■ タッチパネルの取り付け .....	9
■ 接続とソフトのインストールについて .....	11
■ USB ドライバーのインストール .....	12
動作環境 .....	12
インストール .....	12
Windows 98SE の場合 .....	12
Windows Me の場合 .....	14
Windows 2000 の場合 .....	15
Windows XP の場合 .....	19
■ USB ドライバーのインストール後の確認 .....	22
Windows 98SE / Windows Me の場合 .....	22
Windows 2000 / Windows XP の場合 .....	23
■ タッチパネル設定プログラムのインストール .....	24
機能 .....	24
動作環境 .....	24
インストール .....	25
<hr/>	
■ タッチパネル設定プログラム .....	27
基本設定 .....	28
キャリブレーション .....	29
ユーザー設定 .....	35
カーソル位置 微調整 .....	37
<hr/>	
■ ソフトのアンインストール .....	38
タッチパネル設定プログラム .....	38
USB ドライバーソフトのアンインストール .....	39
■ 修理を依頼される前に .....	40
■ 仕様 .....	41
■ 外形寸法図 .....	42
■ 保証とアフターサービス .....	43

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

## 警告

- 故障や異常のまま使用しないでください



禁止

煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

- 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、おやめください。

- 水をかけたり、ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 本機の分解、改造はしないでください



分解禁止

火災・感電・故障の原因となります。

- 本機の赤外線透過フィルターのエッジ部分にふれないでください



禁止

赤外線透過フィルターのエッジ部分は鋭利なため、ふれるとけがをすることがあります。

## 警告

### ■ 異物を入れないでください



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。  
火災・感電・故障の原因となります。

●特にお子様にはご注意ください。

### ■ 近くに水などの入った容器を置かないでください



水ぬれ禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器)

## 注意

### ■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

### ■ 移動させるときは接続線ははずしてください



接続したまま移動させると、接続線が傷つき、故障の原因となることがあります。

### ■ 本機内部の部品にふれないでください



禁止

故障の原因となることがあります。

# お手入れ / 上手な使いかた

## ■ 設置されるとき

タッチパネルは下記の様な場所をさけて設置してください。

- 直射日光のあたる所や強力な光源に近い所  
本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので影響を受け誤動作の原因となります。
- ほこりや湿気の多い所
- 衝撃や振動の加わる所
- 薬品や蒸気が発散している所や薬品に触れる所
- 電氣的ノイズ発生源（発電機、エアコンなど）に近い所

## ■ 使用するとき

- パソコンの電源を入れてから OS が立ち上がるまで画面上の赤外線透過部に触れないでください。  
素子不良として検出され、正常に動作しなくなります。その場合はパソコンを再起動してください。  
また、USB ケーブルの抜き差しの場合も同様に、赤外線透過部に触れないでください。
- 赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所でご使用ください。

## ■ 移動するとき

- 移動のときは衝撃を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 移動のときはプラズマディスプレイ本体のキャリングハンドルを持って行ってください。  
本機を持って移動させると故障の原因になることがあります。

## ■ お手入れについて

必ず USB ケーブルを外してから行ってください。

- 本機表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。  
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で軽くふいてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。  
プラズマディスプレイの画面も同様です。また画面を強くこすらないでください。
- 赤外光透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。  
1 日 1 回は、赤外光透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。  
赤外光透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。  
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- スプレー洗剤など直接かけない。  
水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。
- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない。  
パネルが変質したり塗装がはがれます。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。  
キャビネットが変質する原因となります。  
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。  
内部にほこりがたまると、タッチ検出のための赤外線ビームの光量が低下して、動作不良になることがあります。1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

# 各部のはたらき

## タッチパネル本体（前面）

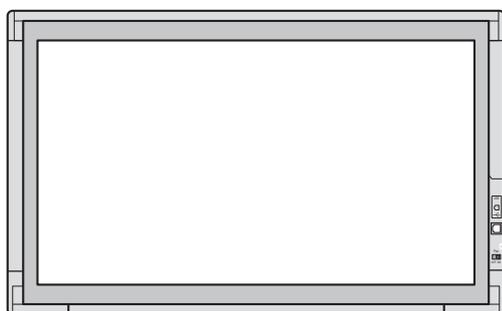


**プラズマディスプレイ電源ボタン**  
電源を「入」、「切」する  
(底面に電源ボタンがあります。)

### タッチペン用受光部

タッチペン(オプション)からの信号を受信するためのものです。  
この部分が隠れると、タッチペンからの信号が正しく受信できなくなります。  
また突起しているのでぶつけないように注意してください。

## タッチパネル本体（後面）

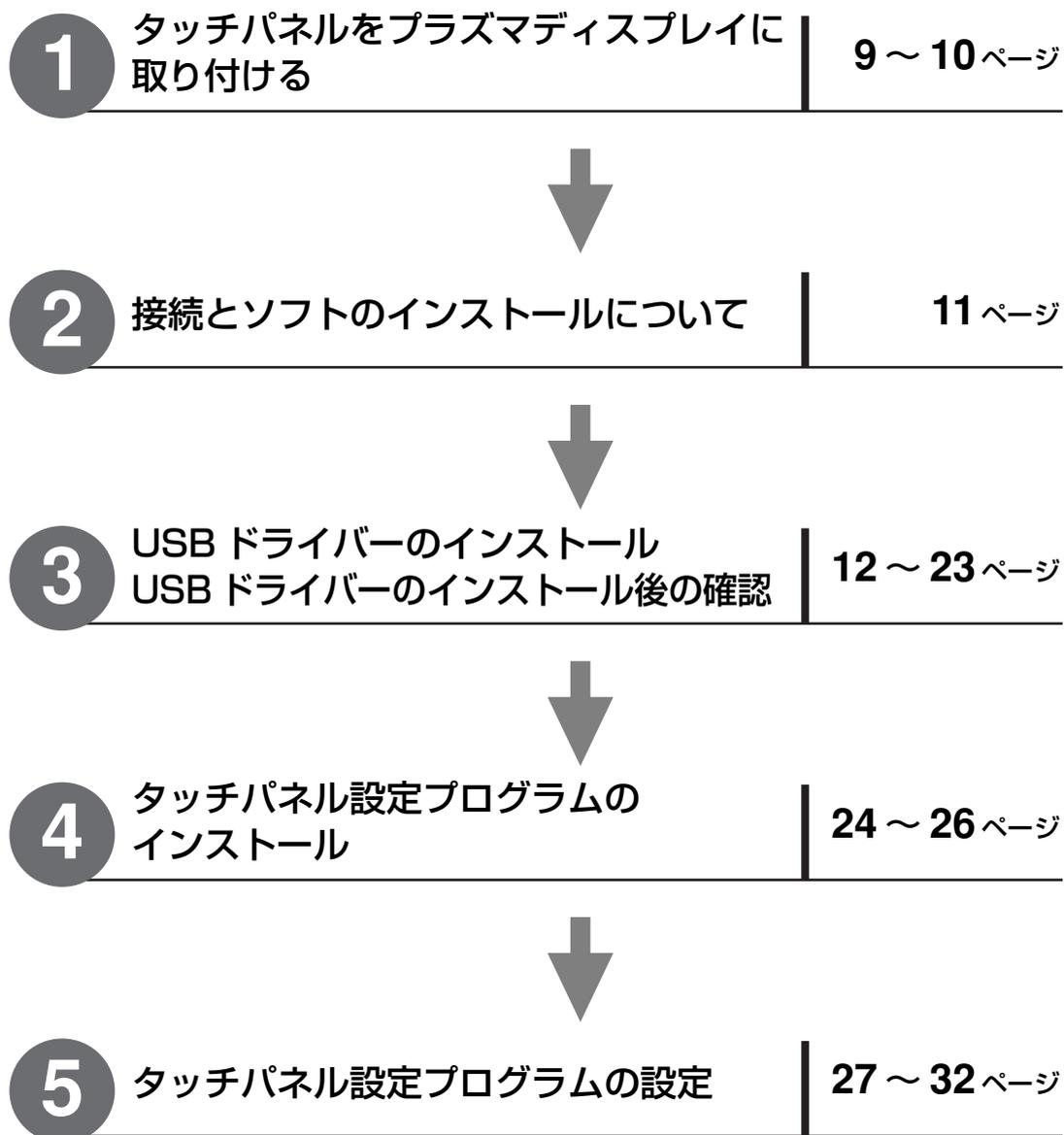


**USB 端子**

### Pen (切り換えスイッチ)

ON : タッチペン入力モード  
(オプションの  
タッチペン使用時)  
OFF : 手書き入力モード  
(通常のタッチパネル)

# 取り付けからインストール、設定までの流れ



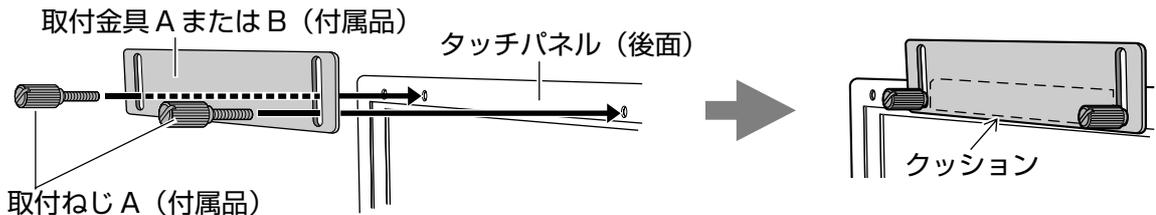
# タッチパネルの取り付け

1

## 取付金具 A をタッチパネルに取り付ける (TY-TP42P8-S) 取付金具 B をタッチパネルに取り付ける (TY-TP50P8-S)

- ① 取付金具 A のクッションが付いている面をタッチパネル側に向ける。(TY-TP42P8-S)
- ② 取付金具 A を上に持ち上げた状態にして、取付ねじ A でタッチパネル上部の左右2カ所に仮止めする。(TY-TP42P8-S)
- ① 取付金具 B のテープが付いている面をタッチパネル側に向ける。(TY-TP50P8-S)
- ② 取付金具 B を上に持ち上げた状態にして、取付ねじ A でタッチパネル上部の左右2カ所に仮止めする。(TY-TP50P8-S)

タッチパネルをディスプレイ本体の前面に取り付けるとき、  
取付金具 A または B が当たらないように金具を上に取り付ける。

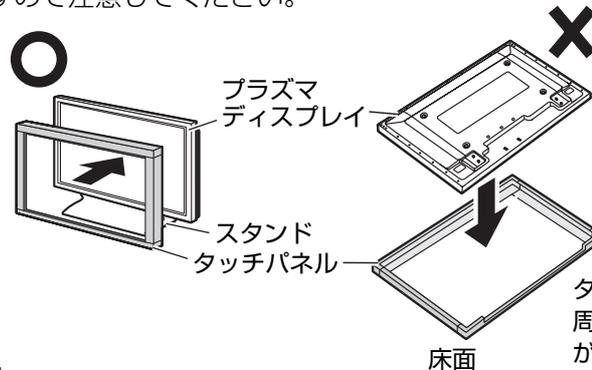
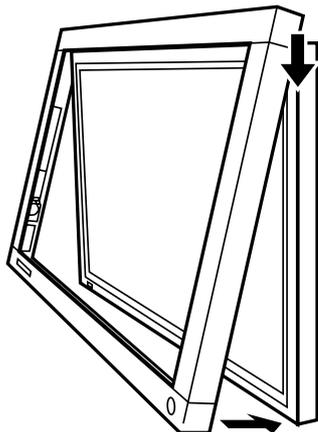


2

## タッチパネルをディスプレイ本体の前面に取り付ける

### 取り付け注意

タッチパネルの赤外線センサーが破損しますのでタッチパネルを下に置いてプラズマディスプレイを上から絶対に取り付けないでください。このような取り付けかたにより故障した場合は有償修理扱いとなりますので注意してください。

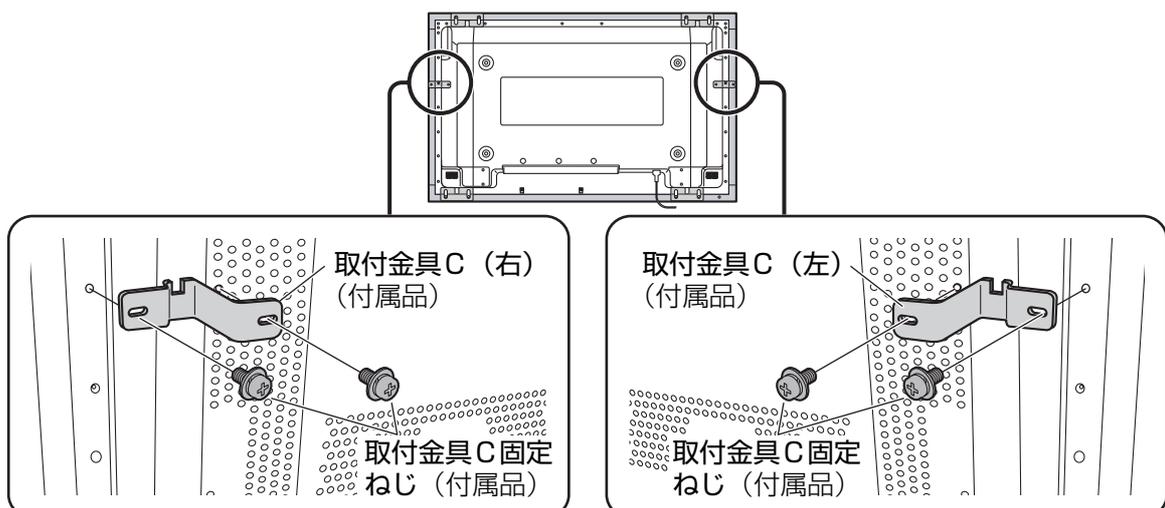


タッチパネル(後面)の周囲に赤外線センサーがあります。

3

## 取付金具 C を仮止めする (TY-TP50P8-S のみ)

タッチパネルとプラズマディスプレイ後面にある左右のスピーカー取付ねじ穴に(セット前面より見て)取付金具 C (左)、(右)を取付金具 C 固定ねじで仮止めする。

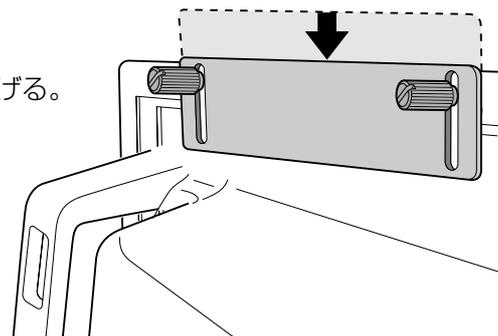


# タッチパネルの取り付け

4

## 仮止めした取付金具 A または B を下げる

仮止めした取付ねじ A をゆるめ、取付金具 A または B を下げる。  
(パネル上部の左右 2カ所)



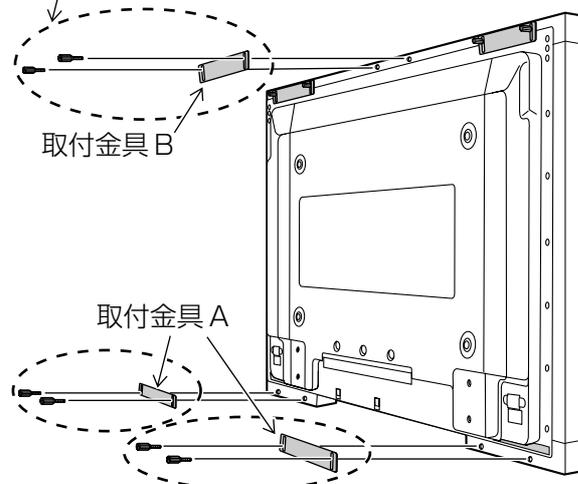
5

## 取付金具 A・B を取り付ける

残りの取付金具 A または B をタッチパネル側に取り付ける。

- TY-TP42P8-S の場合  
取付金具 A 4ケ
- TY-TP50P8-S の場合  
取付金具 A 2ケ (下側)  
取付金具 B 3ケ (上側)

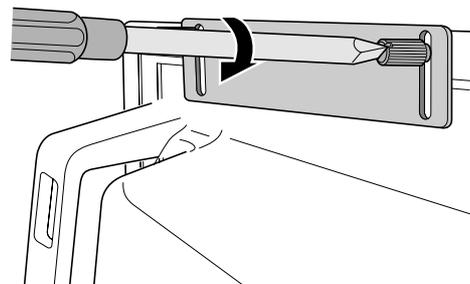
(TY-TP50P8-S のみ)



6

## タッチパネルを固定する

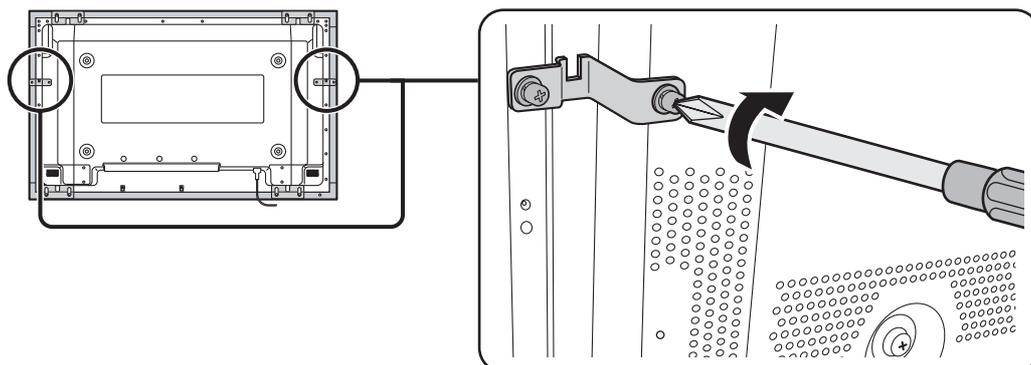
取付ねじ A を手で回して締めた後、マイナスドライバーを使ってさらに締める。  
タッチパネルとディスプレイ前面に大きなすきまが生じないように固定する。  
取付金具 A を締めすぎてゆがみが生じないように注意してください。



7

## 取付金具 C を固定する (TY-TP50P8-S のみ)

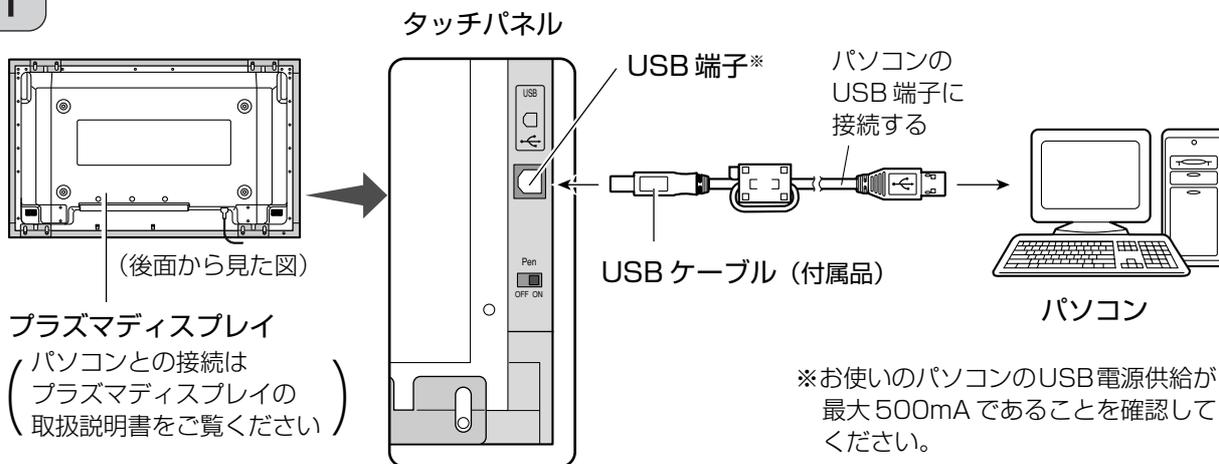
仮り止めした取付金具 C 固定ねじをプラスドライバーを使って締め付けて  
取付金具 C (左)、(右) を固定する。



# 接続とソフトのインストールについて

## 接続

- 1 タッチパネルとパソコンを以下のように接続する。

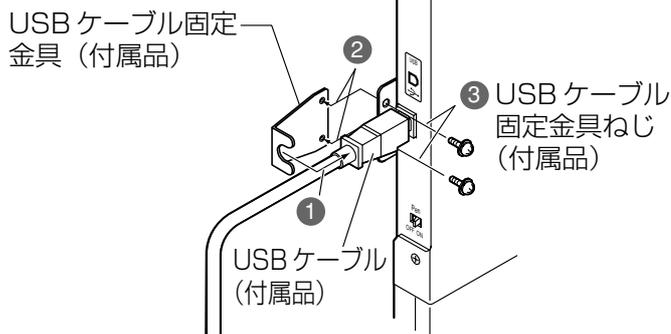


### お願い

- タッチパネルとパソコン間をUSBケーブルで接続するときはパソコンのOSが立ち上がった後に行ってください。
- USBケーブルを接続する際、画面上の赤外線透過部を指などで遮っていた場合、素子不良として検出され、そのまま使用されるとタッチの反応が鈍くなる場合があります。その場合は、USBケーブルを一度外し、再度接続してください。この時、パソコンは起動したままで行ってください。
- USBハブを使用して接続する場合は、USBハブに電源を供給する必要があります。詳しくは、お使いのUSBハブの説明書をよくお読みください。

- 2 USBケーブルの抜け防止に、次の手順でUSBケーブル固定金具を取り付ける。

- 1 固定金具をUSBケーブルに取り付ける。
- 2 固定金具のねじ穴をタッチパネルの穴に合わせる。
- 3 固定金具ねじで金具を固定する。



## ソフトのインストールについて

- 1 プラズマディスプレイ、パソコンの順に電源を入れる。
- 2 プラズマディスプレイの入力をパソコンに切り換える。
- 3 パソコンのOSが立ち上がったら、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、タッチパネルとパソコンをUSBケーブルで接続する。
- 4 OSのインストーラの指示に従い、USBドライバーソフトをインストールする。  
(☞ 12～21 ページ)
- 5 USBドライバーソフトのインストール後の確認をする。  
(☞ 22～23 ページ)
- 6 タッチパネル設定プログラムをインストールする。  
(☞ 24～26 ページ)

# USB ドライバーのインストール

## 動作環境

パソコン	PC/AT 互換機 (DOS/V 機) USB ポート、CD-ROM ドライブ搭載機種	
対応 OS (日本語版)	Windows 98 Second Edition	••••• (👉 下記)
	Windows Millennium Edition	••••• (👉 14 ページ)
	Windows 2000	••••• (👉 15 ページ)
	Windows XP (Service Pack1 以降推奨)	••••• (👉 19 ページ)

## インストール

インストールは、使用されている OS によって異なりますので、対応する OS のセットアップ手順に従ってください。

### お願い

- Windows 2000 および Windows XP では、Administrator (管理者) グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。

### Windows 98SE の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows 98SE が立ち上がったら、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンを USB ケーブルで接続する。  
(👉 11 ページ)
- 4 USB ケーブルを接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選び、[次へ] ボタンをクリックする。

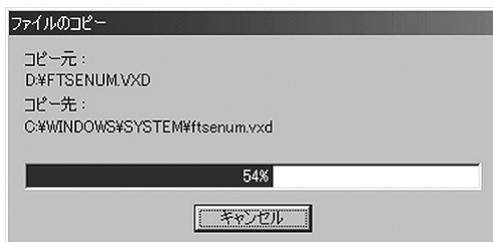
# USB ドライバーのインストール



6 「CD-ROM ドライブ」を選び、  
[次へ] ボタンをクリックする。



7 CD-ROM よりドライバー  
ファイルを検索し、準備ができた  
ら左の画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



8 ドライバファイルがコピーさ  
れます。



9 左の画面が表示されると、イン  
ストール完了です。  
[完了] ボタンをクリックする。

10 もう一度、新しいハードウェアの  
画面が表示され、仮想COMポート  
ドライバがインストールされます。

使  
う  
前  
の  
準  
備

# USB ドライバーのインストール

## Windows Me の場合



1 パソコンを起動する。

2 Windows Me が立ち上がった  
ら、付属の CD-ROM を CD-  
ROM ドライブにセットする。

3 タッチパネルとパソコンを  
USB ケーブルで接続する。  
( 11 ページ)

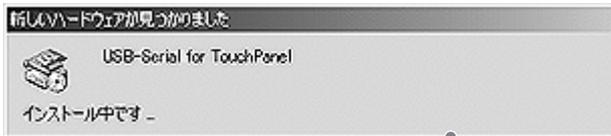
4 USB ケーブルを接続すると、  
「新しいハードウェアの追加  
ウィザード」が表示されます。  
「適切なドライバを自動的に検  
索する (推奨)」を選び、[次へ]  
ボタンをクリックする。



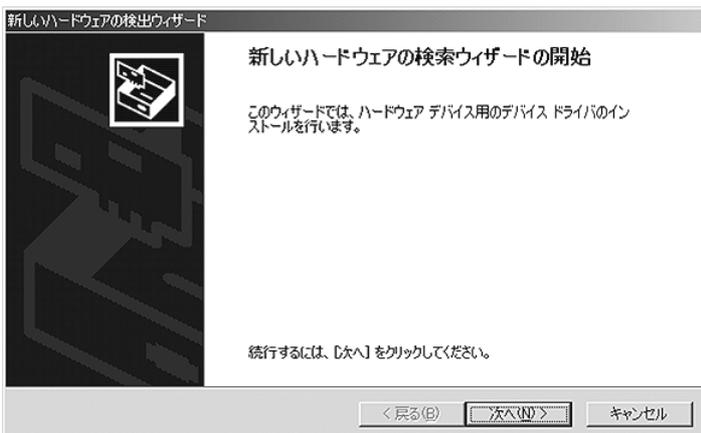
5 左の画面が表示されると、  
[完了] ボタンをクリックする。

6 もう一度、新しいハードウェア  
の画面が表示され、仮想 COM  
ポートドライバがインストール  
されます。

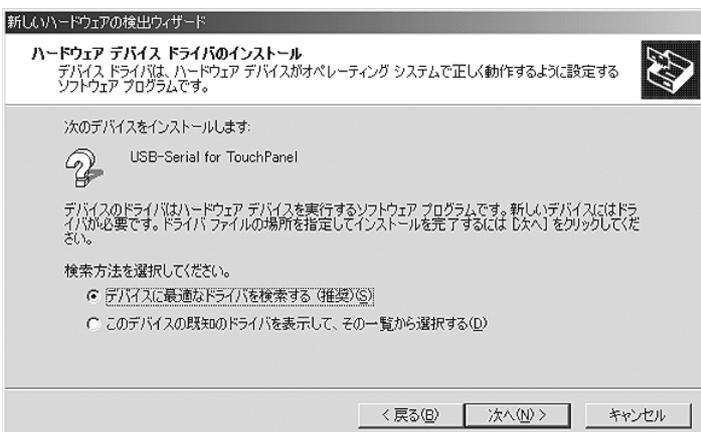
## Windows 2000 の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows 2000 が立ち上がったら、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンを USB ケーブルで接続する。  
([\[次へ\]](#) 11 ページ)
- 4 USB ケーブルを接続すると、新しいハードウェアとして認識され左の画面が表示されます。



- 5 次に、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



- 6 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」画面が表示されます。  
「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び [次へ] ボタンをクリックする。

使う前の準備

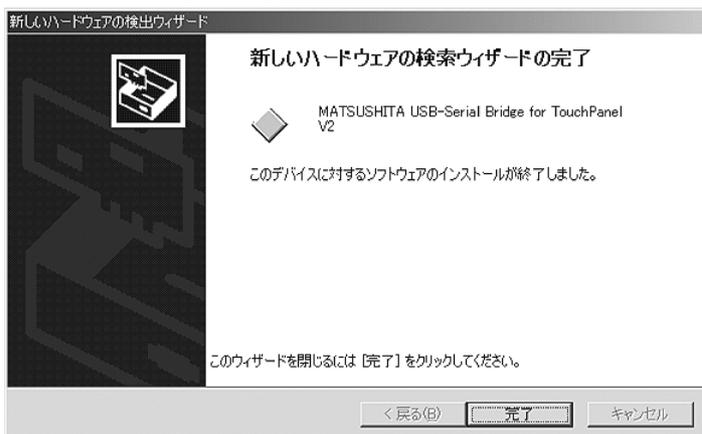
# USB ドライバーのインストール



7 「ドライバ ファイルの特定」画面が表示されます。  
「CD-ROM ドライブ」を選び、  
[次へ] ボタンをクリックする。



8 「ドライバ ファイルの検索」の  
終了画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。

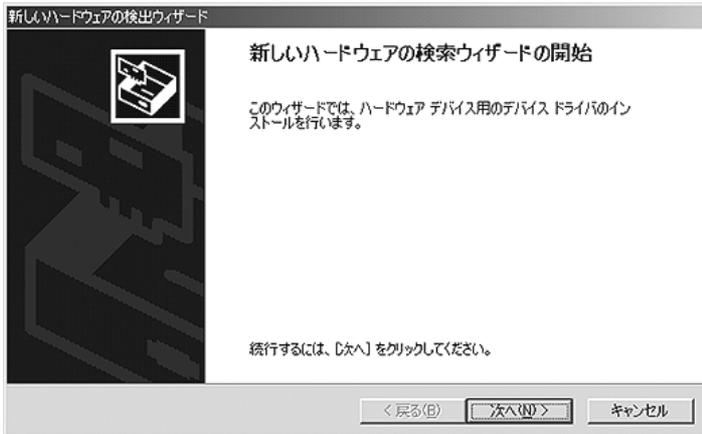


9 左の画面が表示されるとイン  
ストール完了です。  
[完了] ボタンをクリックする。



10 もう一度、新しいハードウェア  
として認識され、左の画面が  
表示されます。

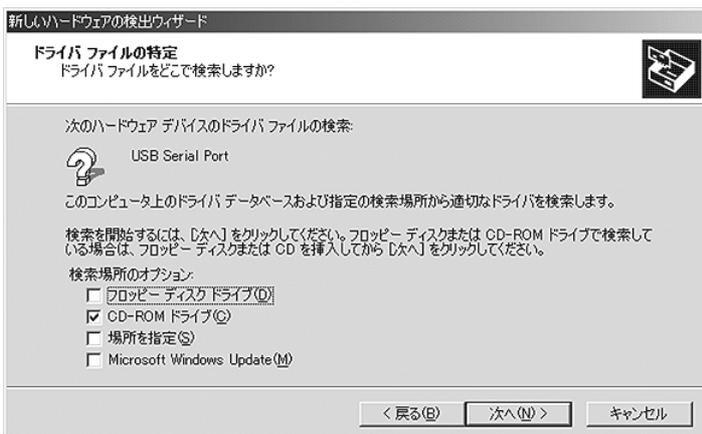
# USB ドライバーのインストール



- 11 次に、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



- 12 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」画面が表示されます。  
「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び[次へ] ボタンをクリックする。



- 13 「ドライバファイルの特定」画面が表示されます。  
「CD-ROMドライブ」を選び、[次へ] ボタンをクリックする。

使う前の準備

# USB ドライバーのインストール

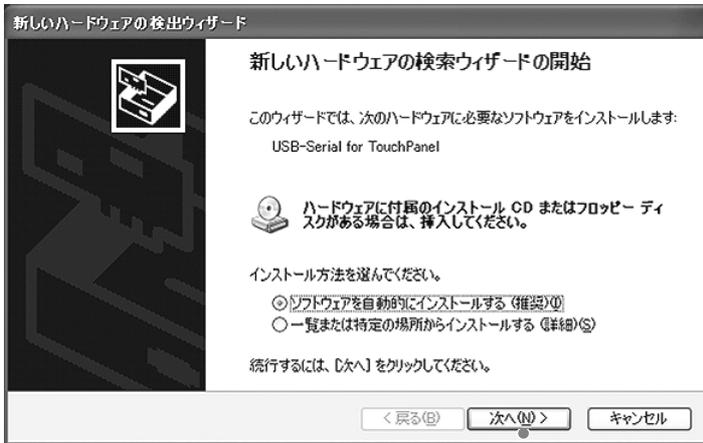


- 14 「ドライバファイルの検索」の終了画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



- 15 左の画面が表示されると、仮想COMポートドライバのインストール完了です。  
[完了] ボタンをクリックする。

## Windows XP の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows XPが立ち上がったら、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンをUSBケーブルで接続する。  
(11 ページ)

- 4 USBケーブルを接続すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。  
[次へ] ボタンをクリックする。



- 5 左のような警告メッセージ画面が表示されますが、そのまま [続行] ボタンをクリックする。



- 6 ドライバーファイルがインストールされます。

# USB ドライバーのインストール



7 左の画面が表示されると、USB デバイスドライバのインストール完了です。「完了」ボタンをクリックする。



8 もう一度、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選び「次へ」ボタンをクリックする。



9 左のような警告メッセージ画面が表示されますが、そのまま「続行」ボタンをクリックする。

## USB ドライバーのインストール



10 ドライバーファイルがインストールされます。



11 左の画面が表示されると、仮想 COM ポートドライバのインストール完了です。  
完了」 ボタンをクリックする。

使う前の準備

# USB ドライバーのインストール後の確認

## Windows 98SE / Windows Me の場合

デバイスマネージャーで「COM ポート番号」を確認します。



- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする。
- 2 コントロールパネルの [システム] をダブルクリックする。
- 3 システムのプロパティの「デバイス マネージャ」タブをクリックする。
- 4 「ポート (COM/LPT)」をダブルクリックする。  
「USB-Serial for TouchPanel V2 (COMx)」と表示されていることを確認する。
  - (COMx)が、タッチパネルの使用するCOMポート番号となります。
  - COMポート番号は、ご使用のパソコン環境によって、設定される番号が異なります。

「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」を確認します。



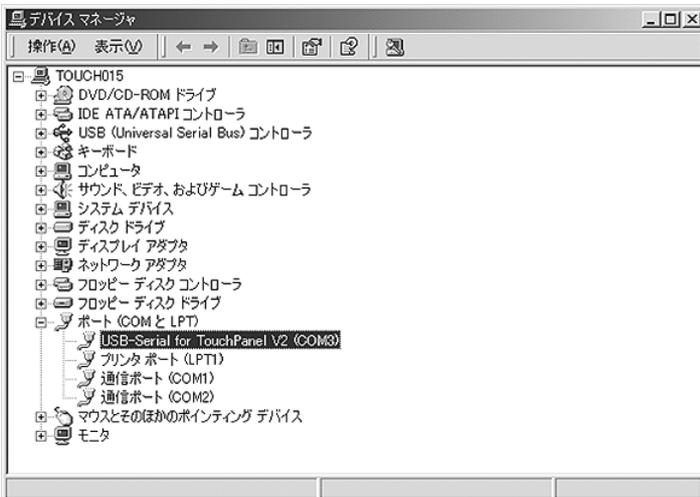
- 5 「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」をダブルクリックする。  
「MATSUSHITA USB-Serial Bridge for TouchPanel V2」と表示されていることを確認する。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。

## ■ インストール後のUSBケーブルの接続について

- USBケーブルを抜いてから再度、差し込むまでの時間が短い場合、パソコンが認識できない場合がありますので、このときはパソコンを再起動してください。

## Windows 2000 / Windows XP の場合

デバイスマネージャで「COMポート番号」を確認します。



- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする。
- 2 コントロールパネルの [システム] をダブルクリックする。
- 3 システムのプロパティの「ハードウェア」タブをクリックする。
- 4 [デバイス マネージャ] をクリックする。
- 5 「ポート (COMとLPT)」をダブルクリックする。  
「USB-Serial for TouchPanel V2 (COMx)」と表示されていることを確認する。
  - (COMx)が、タッチパネルの使用するCOMポート番号となります。
  - COMポート番号は、ご使用のパソコン環境によって、設定される番号が異なります。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。

使う前の準備

## ■ インストール後のUSBケーブルの接続について

- ドライバーをインストールしたUSBポートと異ったポートにUSBケーブルを接続すると、新しいハードウェアとして認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。この場合は [キャンセル] をクリックしてからドライバーのインストールをしたUSBポートにUSBケーブルを接続し直してください。
- USBケーブルを抜いてから再度、差し込むまでの時間が短い場合、パソコンが認識できない場合がありますので、このときはパソコンを再起動してください。
- Windows XP のときは、USBケーブルを抜き差しすると、パソコンが認識できない場合がありますので、Windows XP Service Pack 1 以降をお使いになることを推奨します。

# タッチパネル設定プログラムのインストール

## 機能

タッチパネル設定プログラムの機能は次の通りです。

- タッチパネルの出力データを、マイクロソフト社製シリアルマウスと互換性のあるプロトコルに変換することにより、アプリケーションプログラムに対しマウスと同等のソフトウェアインターフェースを提供します。  
これによって、既存のアプリケーションをタッチパネルで操作することやタッチパネル応用アプリケーションの開発をマウスベースで進めることが可能となります。
- タッチパネル設定プログラムにより、タッチパネルの動作設定を変更できます。

## 動作環境

パソコン	PC/AT 互換機 (DOS/V 機) USB ポート、CD-ROM ドライブ搭載機種
対応 OS (日本語版)	Windows 98 Second Edition Windows Millennium Edition Windows 2000 Windows XP (Service Pack1 以降推奨)

- PS/2 マウスのようなシリアルポートを使用しないポインティングデバイスとは、お互いに干渉することなく同時に使用できます。
- タッチパネル設定プログラムのインストールに先立って、COM ポートのアドレスおよび割り込みが正しく設定され、COM ポートが正しく動作している必要があります。
- ハイパーターミナルなど、COM ポートを使用するアプリケーションとの併用はできません。
- 動画ファイルなど、CPU 使用率の高いアプリケーションと併用するときは、動画がコマ落ちする、またはマウスポインタの追従が遅れるなどの障害がおこる場合があります。

# タッチパネル設定プログラムのインストール

## インストール

付属のCD-ROMにはタッチパネル設定プログラムの専用インストーラ（Windows 98SE / Windows Me用とWindows 2000 / Windows XP用）が入っています。お使いのOSに合ったセットアップファイル（setup.exe）を起動してください。

OS	CD-ROM（専用インストーラ）
Windows 98SE Windows ME	¥Japanease¥Win9x_me¥setup.exe
Windows 2000 Windows XP	¥Japanease¥Win2k_xp¥setup.exe

### お願い

- Windows 2000 およびWindows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。
- 以前のバージョンのタッチパネル設定プログラムがインストールされている場合は、初めに以前のバージョンのソフトをアンインストールしてから新しいバージョンのソフトをインストールしてください。（☞ 33 ページ）



**1** 付属のCD-ROMをセットする。  
(CD-ROMをセットしたドライブ名をDドライブと仮定します)

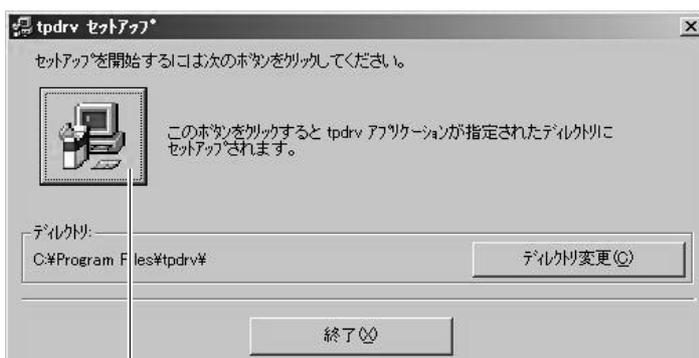
**1** [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選択する。

**2** お使いのOSに合わせて[名前]欄に  
“D:¥Japanease¥Win9x\_me¥setup.exe”  
または  
“D:¥Japanease¥Win2k\_xp¥setup.exe”  
と入力する。

**3** [OK]ボタンをクリックする。  
セットアッププログラムが起動します。

**2** [OK]ボタンをクリックする。

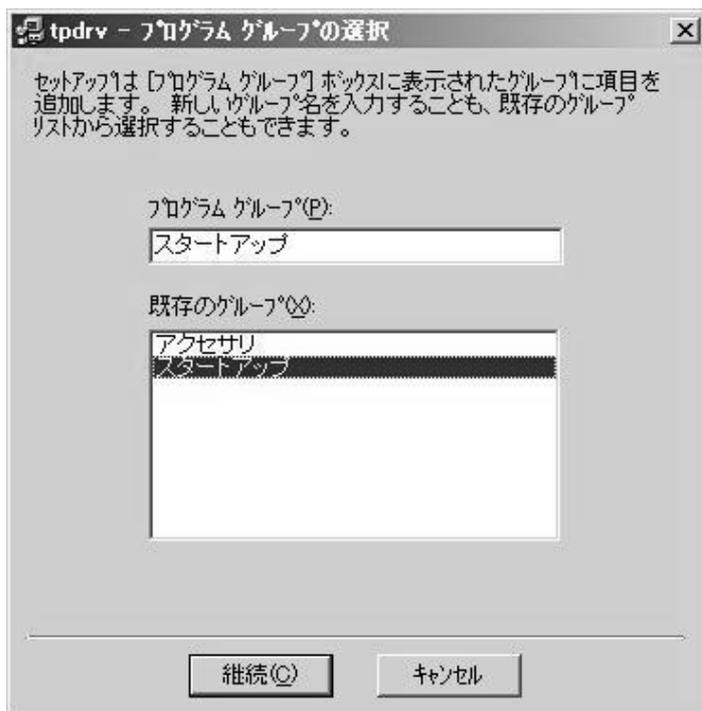
**3** インストール先のディレクトリ  
に変更がなければ「セットアップ」  
ボタンをクリックする。



「セットアップ」ボタン

使  
い  
か  
た

## タッチパネル設定プログラムのインストール



- 4 [継続]ボタンをクリックする。初期設定はスタートアッププログラムとして登録されます。これにより次回からパソコンを起動するとドライバーソフトが自動で起動してタッチパネルを使用することができます。



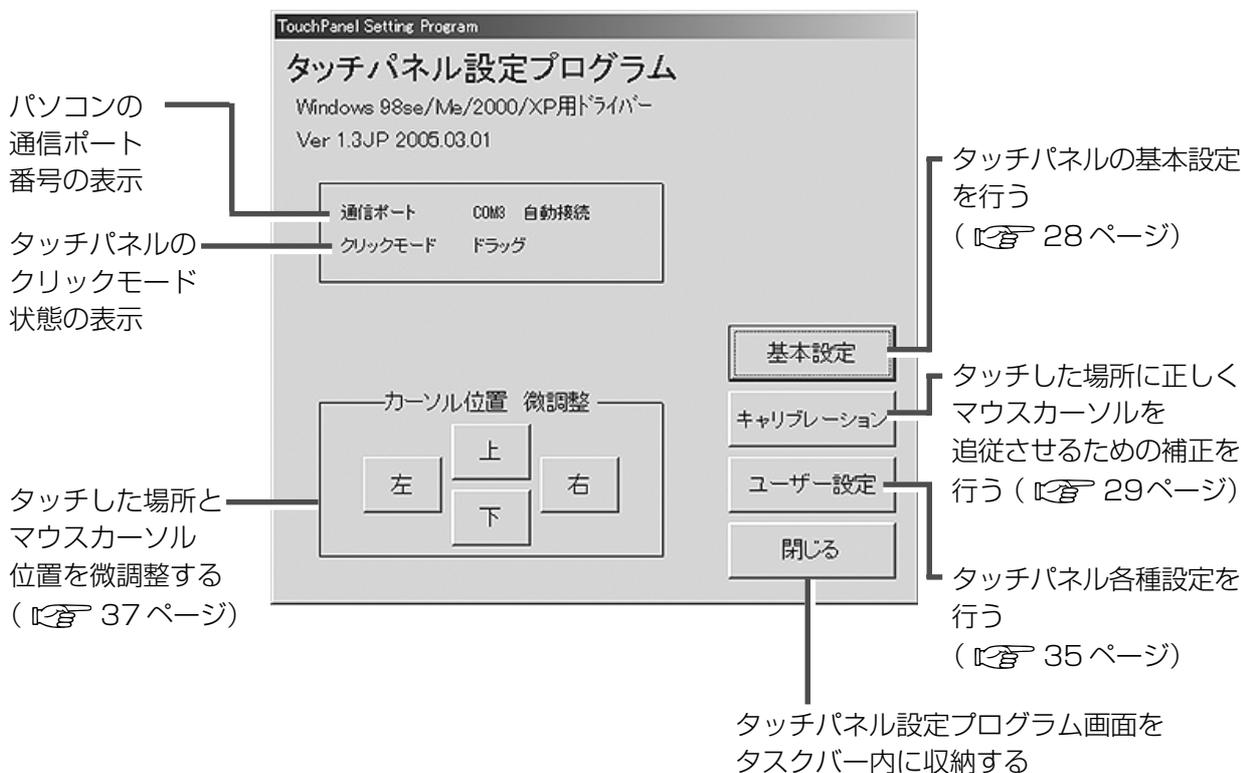
- 5 必要なファイルがインストールされます。



- 6 [OK]ボタンをクリックする。パソコンを再起動するとドライバーソフトが起動します。

# タッチパネル設定プログラム

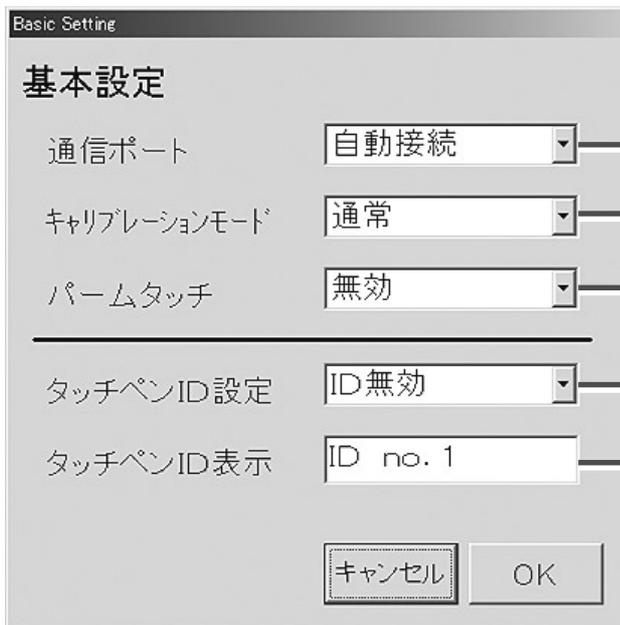
このプログラムは、通信ポートの設定、各種動作モードの設定やキャリブレーションなどを行いません。変更した内容は初期設定として“C：¥Program Files¥tpdrv”フォルダ内の“tpdrv.ini”設定ファイルに保存され、以降は変更した内容が有効になります。



各ボタンを押すとそれぞれの設定ウィンドウがポップアップし、設定値が変更できます。各項目の変更は、ウィンドウを閉じると同時に現在稼働中のドライバーソフトに反映されます。最後に[閉じる]ボタンをクリックすると、すべての設定値を“tpdrv.ini”に記録し、ウィンドウを閉じます。

# タッチパネル設定プログラム

## 基本設定



### ■通信ポート

タッチパネルを接続したパソコンのCOMポートを設定します。

自動接続 : ドライバースoftwareが自動検出して設定します。

COM1、COM2… : 自動接続できないときは接続しているポートを選びます。(ご使用のパソコン環境によって、COMポート番号は異なります)

### ■キャリブレーションモード

通常 : 通常のキャリブレーションです

特殊 : 通常のキャリブレーションができない時に使用します (画面ズーム時など)

### ■パームタッチ

無効 : 指またはタッチペンで使用する場合

有効 : 手のひらでタッチする場合

### ■タッチペンID設定

タッチペン (オプション) のIDをタッチパネルドライバー側で合わせます。

ID無効 : タッチペン側のIDを問わず、信号を受け付けます。

ID no.1 ~ 4 : 同じIDに設定されているタッチペンの信号だけを受け付けます。

### ■タッチペンID表示

現在使用しているタッチペンのIDを表示します。

## キャリブレーション

タッチした場所に正しくマウスカーソルを追従させるための補正を行います。

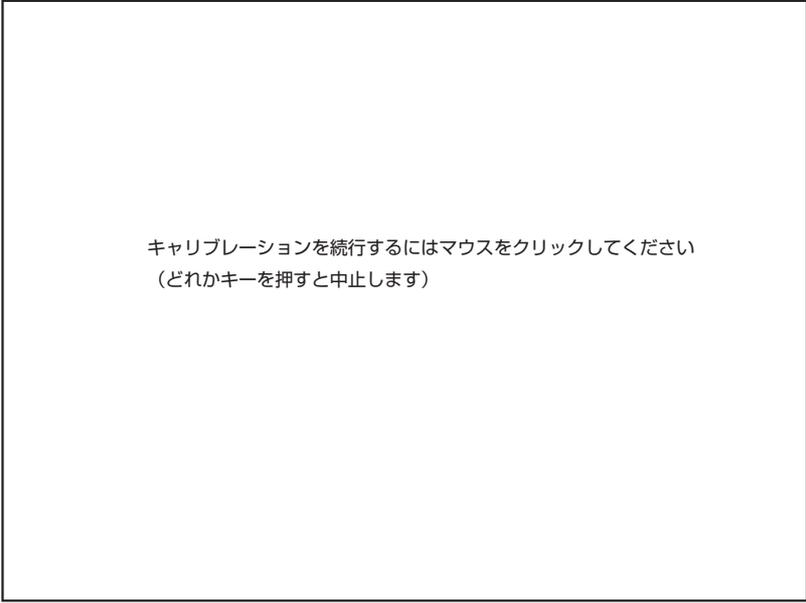
画面に表示されるターゲットの中心を順番にタッチしてください。

ターゲット表示は、左上→左下→右上の順番になります。途中で中止したい場合は、キーボードのいずれかのキーを押してください。

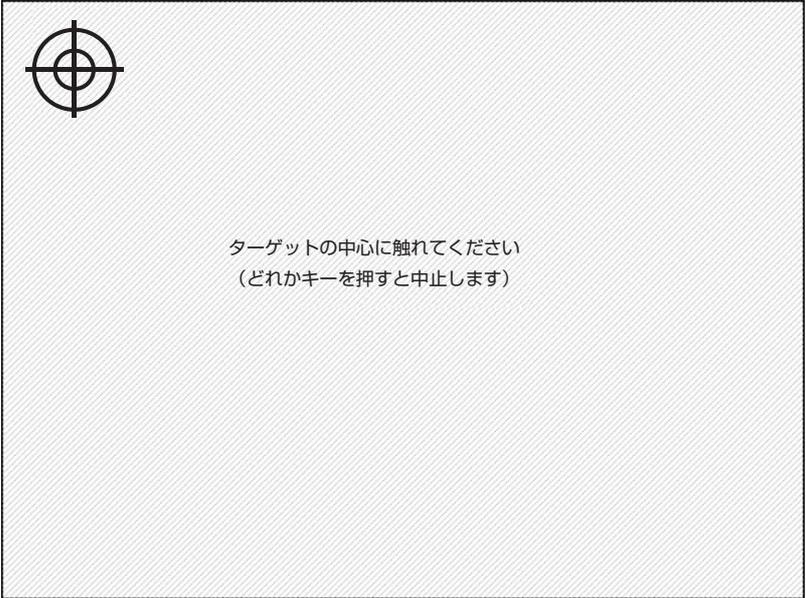
一度、キャリブレーションを行なうと、その補正値は設定ファイルに保存されます。次回からの起動は、設定ファイルより補正値を読み取り起動しますので、改めてキャリブレーションを行なう必要はありません。

### 通常設定の場合

※以下の順番で表示されます。



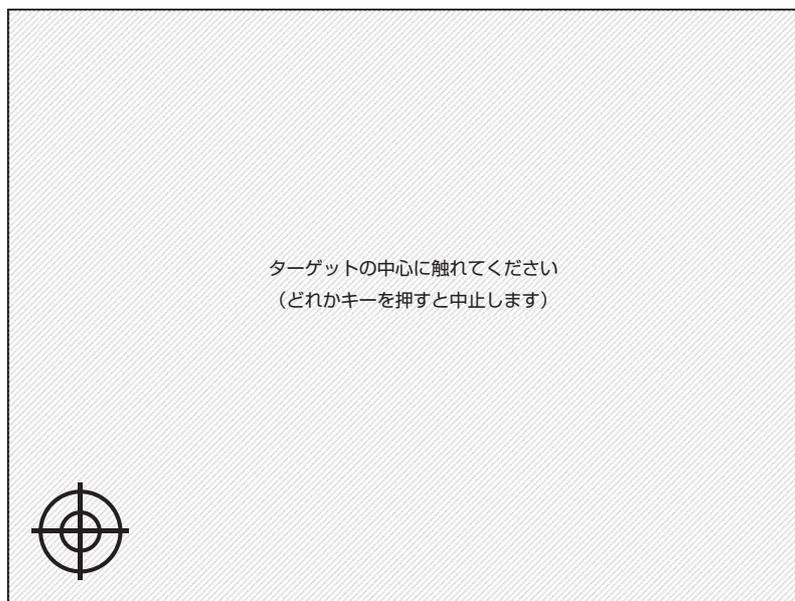
キャリブレーションを続行するにはマウスをクリックしてください  
(どれかキーを押すと中止します)



ターゲットの中心に触れてください  
(どれかキーを押すと中止します)



## キャリブレーション



## キャリブレーション

### 特殊設定の場合

※表示されるキャリブレーション画面が、以下の順番で表示されます。

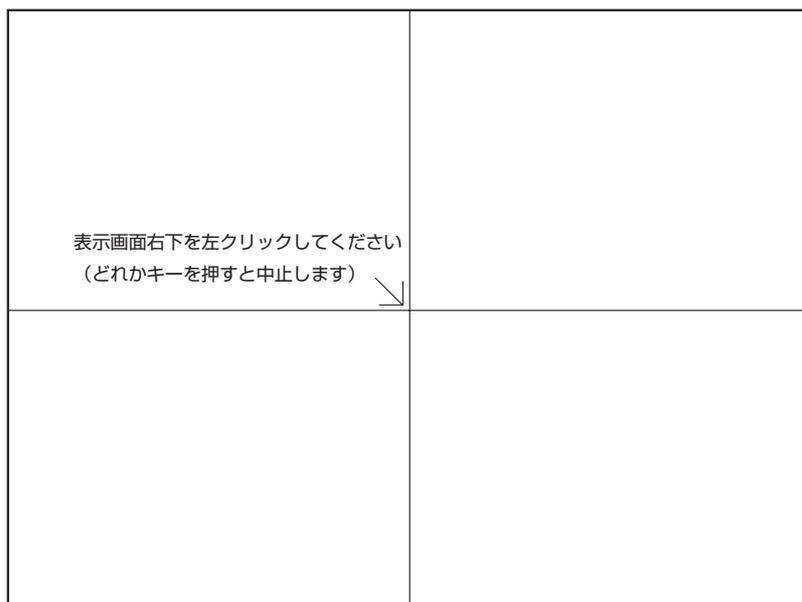
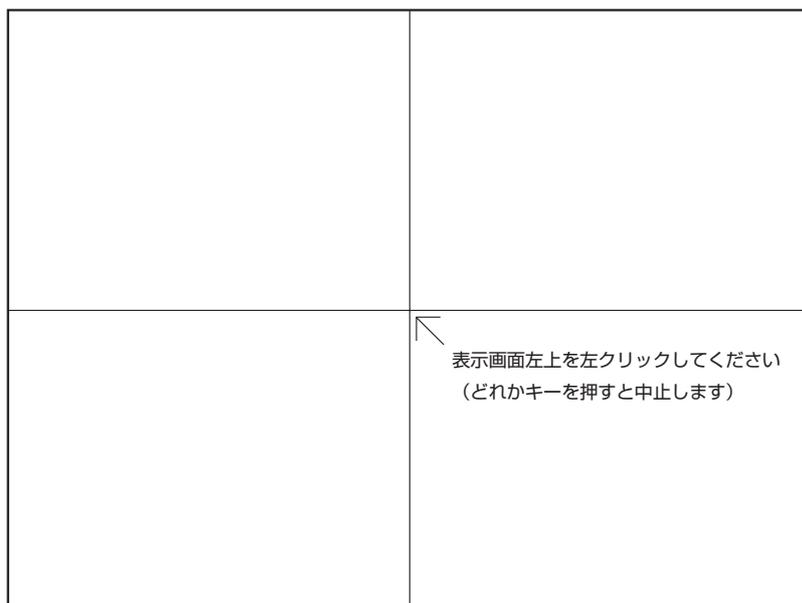
キャリブレーションを続行するにはマウスをクリックしてください  
(どれかキーを押すと中止します)



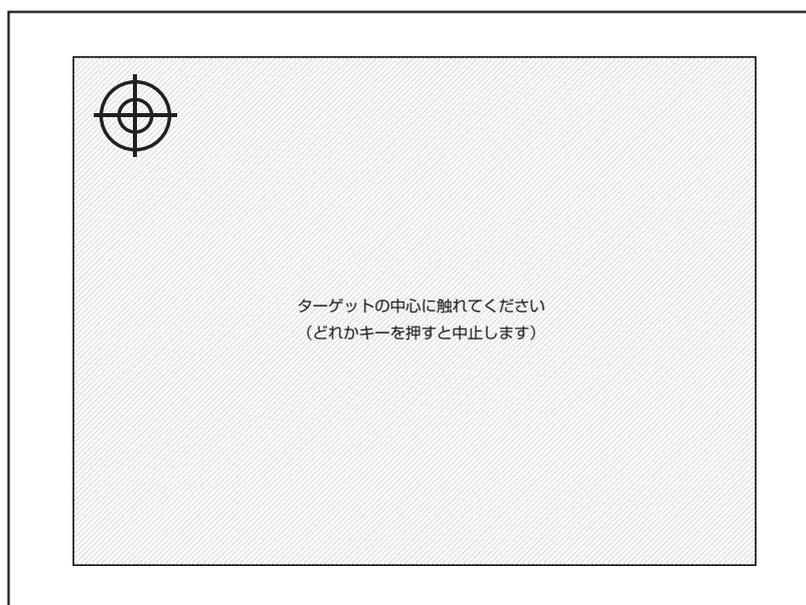
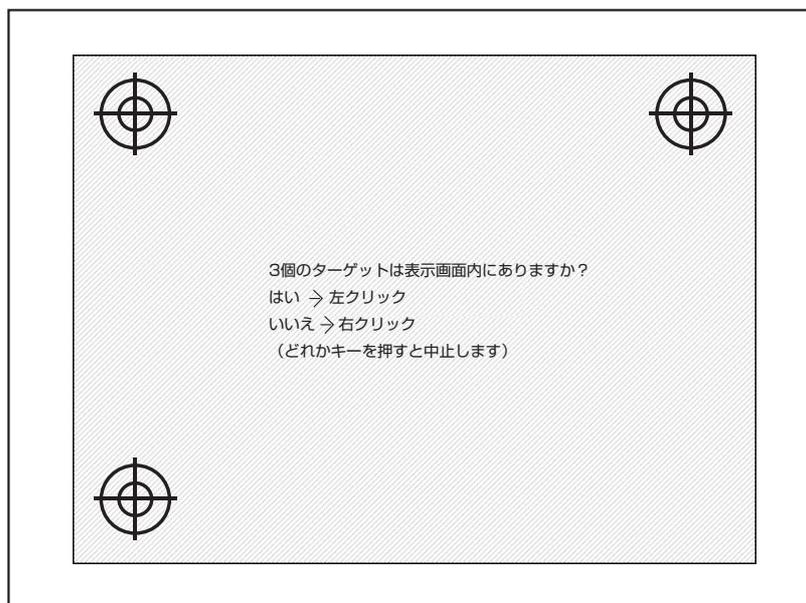
# タッチパネル設定プログラム

---

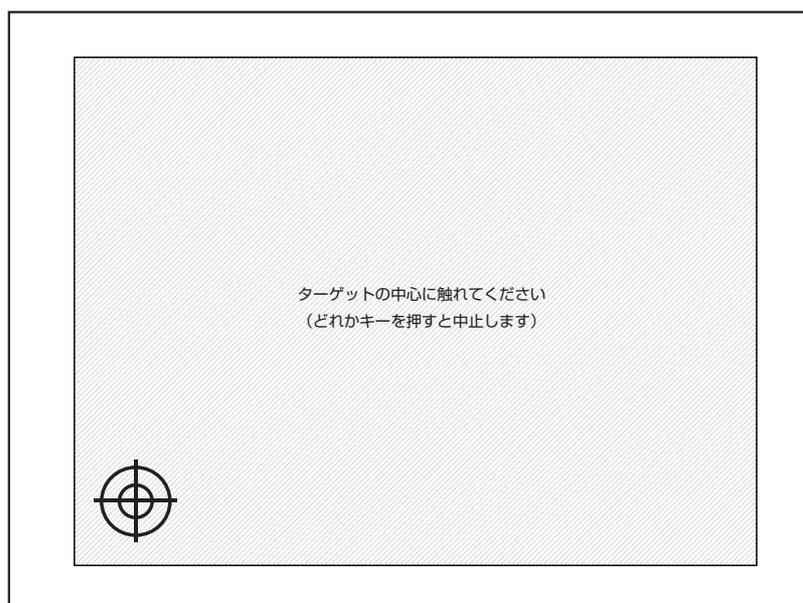
## キャリブレーション



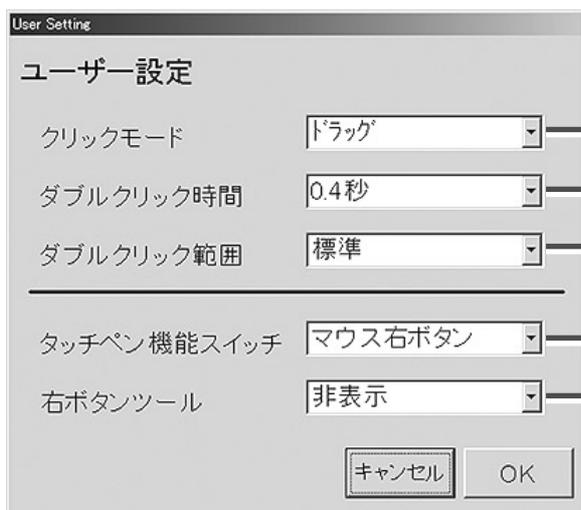
## キャリブレーション



## キャリブレーション



## ユーザー設定



### ■クリックモード (次ページ)

### ■ダブルクリック時間

ダブルクリックと認識させる時間を設定します。1回目のタッチから2回目のタッチまでの時間を設定し、設定した時間内に2回目のタッチがあった場合にダブルクリックと認識させます。0.2秒間から1.0秒間まで0.2秒間隔で5段階に設定できます。この設定を変更するときはWindows側マウス設定のダブルクリックの速度を"遅く"にしてください。

### ■ダブルクリック範囲

ダブルクリックの有効範囲を設定します。1回目のタッチと2回目のタッチ位置が若干ずれた場合でもダブルクリックとして認識できます。  
狭い：標準より狭くなります  
広い：標準より広くなります

### ■タッチペン機能スイッチ

タッチペン(オプション)の機能スイッチを設定します。

**消しゴム**：タッチペンツールソフトを使用した場合、消しゴムとして機能します

**マウス右ボタン**：タッチペン(オプション)の機能スイッチを押しながらディスプレイに触れることにより、マウスの右ボタンをクリックした動作になります

**無効**：タッチペン(オプション)の機能スイッチは働きません

### ■右ボタンツール

タッチパネルでマウスの右ボタンの操作を行いたい場合に、このツール(マウスの絵)を使います。

**表示**：ディスプレイ画面の左上にツール(マウスの絵)が表示されます。



(左ボタン動作)

タッチすると →

(右ボタン動作)

表示が変わり1回だけマウスの右ボタン押し下げとして動作します。以降は左ボタン動作に戻ります。

**非表示**：ツールは表示されません。

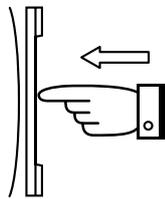
# タッチパネル設定プログラム

## クリックモード

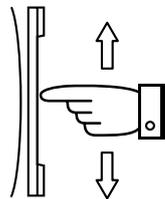
### ■ ドラッグ

パネルへのタッチ動作をマウスの左ボタンの押し下げに、パネルから指を離す動作を左ボタンの開放に対応させます。

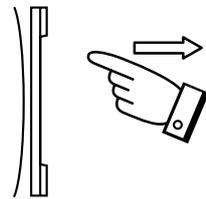
従ってパネルから指を離れたときにクリック操作になります。また、指を移動するときはマウスカーソルが追従しドラッグ操作となります。



ボタンダウン



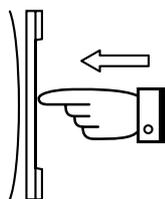
ドラッグ



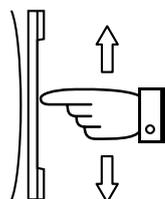
ボタンアップ

### ■ クリック オン タッチ

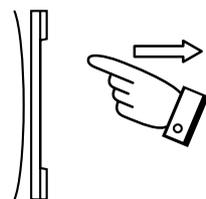
パネルへのタッチ動作を、マウスの左ボタンのシングルクリック（ボタンの ON、OFF）に対応させます。パネルにタッチしたときにクリック操作になります。



ボタンダウン  
ボタンアップ



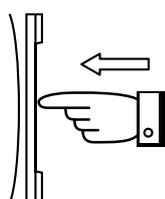
変化なし



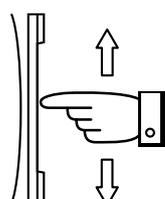
変化なし

### ■ クリック オン リリース1

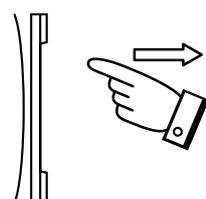
パネルから指を離れたときにクリック操作になります。パネルにタッチしている間はボタンダウン操作にはなりません。また、指を移動するときはカーソルの追従はしません。



変化なし



変化なし

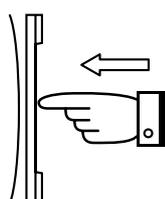


ボタンダウン  
ボタンアップ

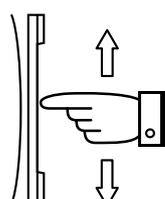
### ■ クリック オン リリース2

パネルから指を離れたときにクリック操作になります。

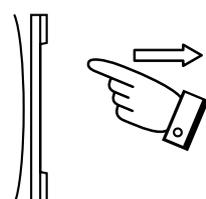
パネルにタッチしたときはボタンダウン操作になります。また、指を移動するときはカーソルの追従はしません。



ボタンダウン



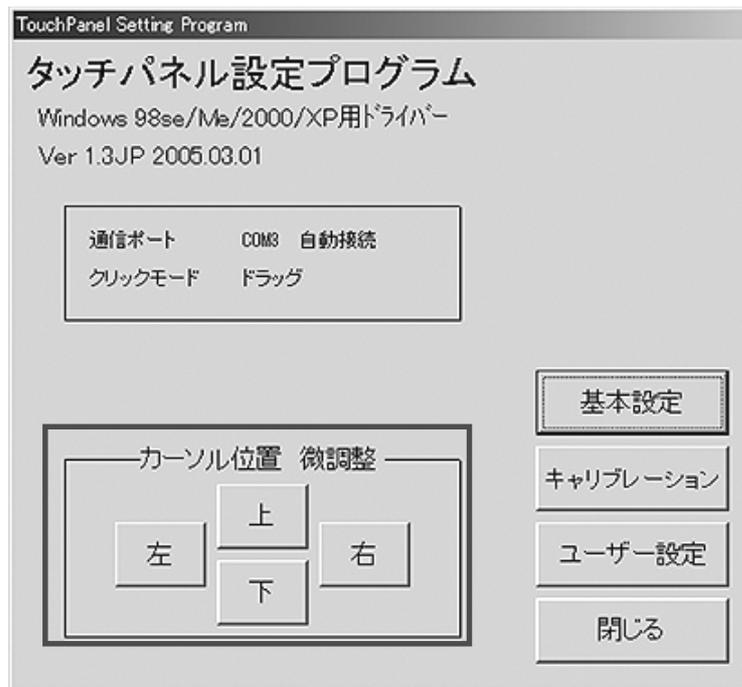
変化なし



ボタンアップ

## カーソル位置 微調整

キャリブレーションを実行することにより、タッチした場所とマウスのカーソル位置は同一ポイントになりますが、何らかの理由によりカーソルを若干動かしたい場合は、「カーソル位置 微調整」([上]、[下]、[左]、[右]) ボタンを利用してください。



# ソフトのアンインストール

## タッチパネル設定プログラム

お使いのパソコンにインストールしたプログラムを削除する場合は、次の方法で「tpdrv」を削除してください。

### お知らせ

- Windows 2000/XP でのプログラムのアンインストールは Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名で行ってください。

## 1 実行中のドライバープログラムを停止する

アンインストールする際、ドライバーが実行中であるとプログラムが削除できません。あらかじめドライバープログラムを停止する必要があります。次の2つのいずれかの方法でドライバープログラムを停止してから行ってください。

### 方法 1

- ① 「Ctrl」 + 「Alt」 + 「Delete」 キーを同時に押す。
- ② 「tpdrv」と「tpmenu」をそれぞれ選び [終了] ボタンをクリックして強制終了後に 2 を行う。

### 方法 2

- ① [スタート] → [プログラム] → [スタートアップ] → [tpdrv] を選び右クリックして [削除] を選びクリックする。(Windows XP は [プログラム] が [すべてのプログラム] の表示になります。)
- ② パソコンを再起動してから 2 を行う。

## 2 アンインストールを行う



画面は、Windows Me の例です。

### ■ Windows 98SE/Me/2000 の場合

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする。
- ② [アプリケーションの追加と削除] を開き、「tpdrv」を選ぶ。
- ③ [追加と削除] または [変更/削除] をクリックする。
  - 画面の指示に従って進めてください。
  - 終了後、パソコンを再起動してください。



画面は、Windows XP の例です。

### ■ Windows XP の場合

- ① [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする。
- ② [プログラムの追加と削除] を開き、「tpdrv」を選ぶ。
- ③ [変更と削除] をクリックする。
  - 画面の指示に従って進めてください。
  - 終了後、パソコンを再起動してください。

## USB ドライバソフトのアンインストール

※アンインストールの手順は、全てのOSで共通です。

### USB ドライバソフト



- 1 タッチパネルとパソコンを接続しているUSBケーブルを外します。
- 2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてCD-ROMの中にある「FTDIUNIN.EXE」を実行します。
- 3 アンインストーラが起動されますので、[Continue]ボタンをクリックします。
- 4 左の画面が表示されると、アンインストール完了です。[Finish]ボタンをクリックします。

# 修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
応答しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● USB ケーブルが正しく接続されていますか？</li> <li>● 周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？                      タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。                      蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。                      太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。                      白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</li> </ul>
突然、応答しなくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？                      タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。                      蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。                      太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。                      白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</li> <li>● 付近に強いノイズ源（発電機、電動機など）がありませんか？                      外部からの強力なノイズにより、タッチパネルのマイコンが、誤動作することがありますので、ノイズ源をできるだけ離してください。</li> </ul>
応答が鈍い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？                      タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。                      蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。                      太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。                      白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</li> <li>● 指より細いものでタッチ入力していませんか？                      横 6 mm × 縦 6 mm より細いもので入力すると、赤外線ビームの座標が検出されない場合があります。                      さらに、横 2mm × 縦 2mm より細いもので入力すると検出動作が遅くなったり、またはまったく検出されない場合があります。</li> </ul>
応答しない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指より細いものでタッチ入力していませんか？                      横 6 mm × 縦 6 mm より細いもので入力すると、赤外線ビームの座標が検出されない場合があります。                      さらに、横 2mm × 縦 2mm より細いもので入力すると検出動作が遅くなったり、またはまったく検出されない場合があります。</li> <li>● パソコンの OS が立ち上がるまで画面上の赤外線透過部に触れていませんか？                      その場合はパソコンを再起動してください。</li> </ul>

# 仕様

品番		TY-TP42P8-S	TY-TP50P8-S
種類		光学式タッチパネル	
使用電源	電源電圧	DC +5 V ± 10 %	
	電源電流	DC +5 V 最大 400 mA	
	供給方法	USBバスパワーより供給	
タッチパネル部	検出方式	赤外線遮断検出方式	
	パネル開口部	945.2 mm (幅) × 531.2 mm (高さ)	1129.2 mm (幅) × 645.2 mm (高さ)
	検出領域	920 mm (幅) × 516 (高さ)	1104 mm (幅) × 620 (高さ)
	有効検出領域	上記検出領域+上下、左右 1.0 mm	
	分解能	1841 (幅) × 1033 (高さ) ※1	2209 (幅) × 1241 (高さ) ※1
	検出ピッチ	2.0 mm × 2.0 mm	
	出力方式	座標出力	
	光学素子数	231個 (横) × 130個 (縦)	277個 (横) × 156個 (縦)
	光学素子ピッチ	4.0 (横) mm × 4.0 mm (縦)	
	最小スタイラス	6.0 (横) mm × 6.0 mm (縦)	
	インターフェイス	USB1.1準拠	
使用信号 : +DATA、-DATA、VCC、GND			
I/Fコネクタ: TYPE B			
許容温度	稼動時 0℃ ~ 40℃ (温度勾配 25℃/Hr以下) ※2		
許容湿度	稼動時 20% ~ 80% (結露しないこと) ※2		
耐外来光	側面光	2000 lx + 20% (入射角度 20°)	
	正面光	10000 lx + 20% (入射角度 90°)	
パネル形状	平面パネル (フラットタイプ)		
外形寸法	幅 : 1073 mm 高さ : 659 mm 奥行 : 69 mm (突起部含む) (取付金具を除く)	幅 : 1257 mm 高さ : 773 mm 奥行 : 69 mm (突起部含む) (取付金具を除く)	
	約 5.0 kg (取付金具を除く)		約 5.8 kg (取付金具を除く)
エスカッション材質	アルミニウム		

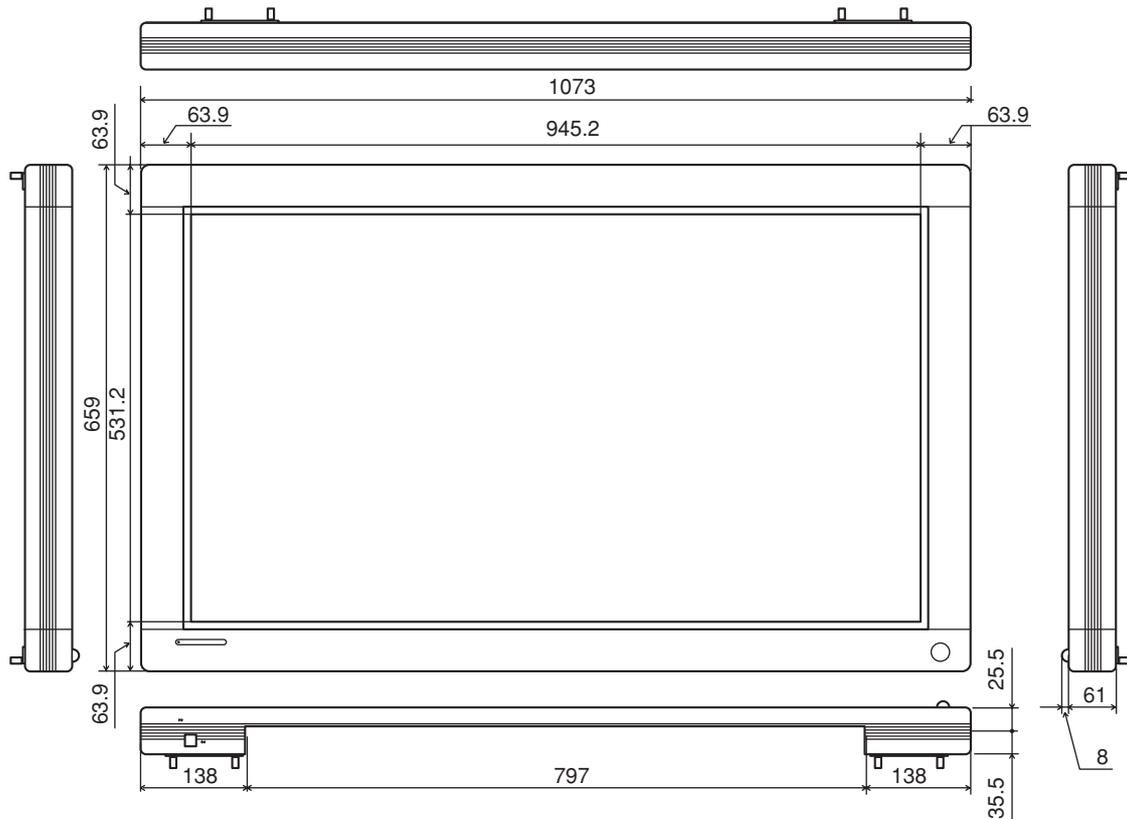
※1 専用ドライバーソフトを使用した場合に得られる分解能です。

※2 タッチパネル単体の場合。(プラズマディスプレイに取り付けた場合、使用する機器の環境条件に従ってください)

# 外形寸法図

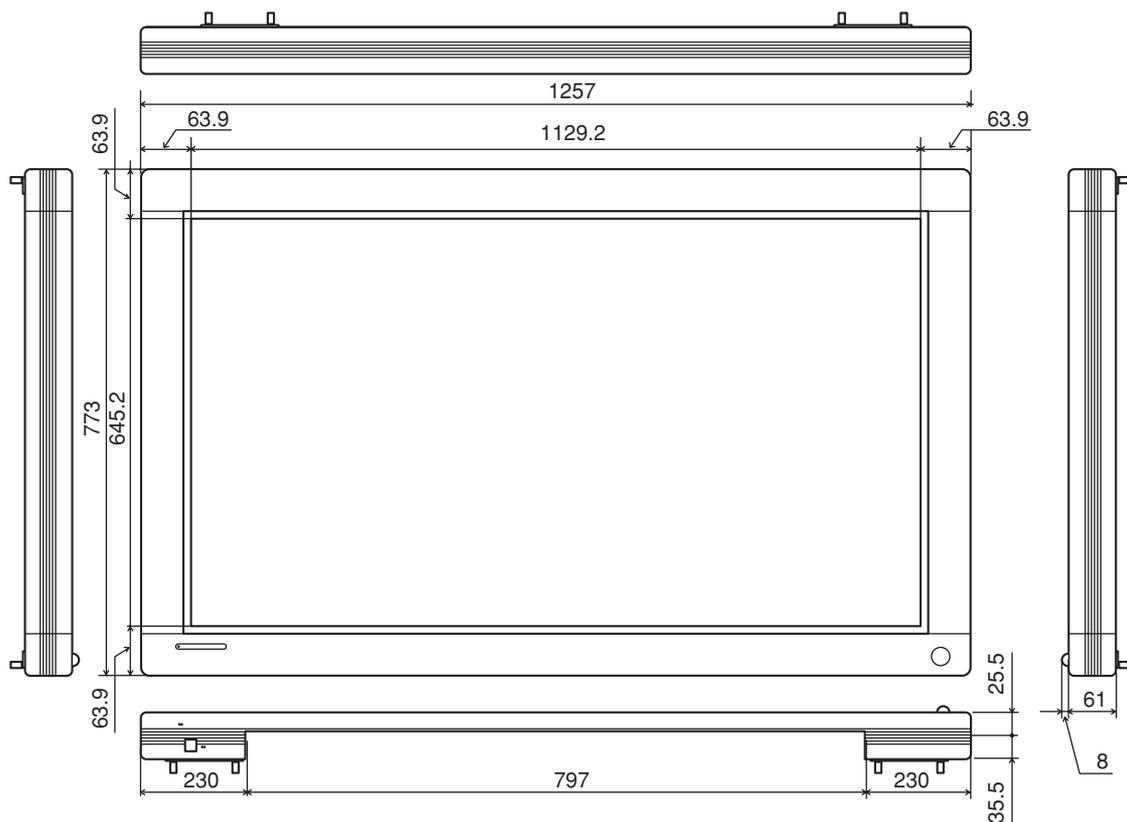
**TY-TP42P8-S**

<単位 : mm >



**TY-TP50P8-S**

<単位 : mm >



# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。

## 3. 修理を依頼される時

40 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず USB ケーブルを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。

なお、修理料金については販売店にご相談ください。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ● 補修用性能部品の保有期間

当社は、この光学式タッチパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

### 修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

必要  
な  
と  
き

<b>便利メモ</b> <small>おぼえのため記入          されると便利です。</small>	お買い上げ日	年 月 日	品番	TY-TP42P8-S/TY-TP50P8-S
	販売店名	 ( ) -		お客様ご相談窓口
				 ( ) -

松下電器産業株式会社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号  (06) 6905 - 5574

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

この取扱説明書は再生紙  
 を使用しています。